

テレセラピー装置 使用方法(Ver. 3)

Mind-Craft

この装置はテレセラピー（宝石光線療法）を試すための装置です。ご購入いただいた方は、まずは試してみたい方が多いことを考慮し、オリジナルの装置よりもバリエーションに富んだ使い方ができます。まず、その差異についてご説明します。

1. 音

オリジナルは交流電源を音源としています。

しかしこれでは、日本で使用する場合、関西で 60Hz、関東で 50Hz しか出せません。

「宝石光線療法の奇蹟」（以下、本といいます）によれば音を使う理由は早く振動させるため、となっていますが、いろんな周波数で試したい方も多いためです。

そこでこの装置では周波数をおよそ 88~550Hz まで変更できます。

もちろん、音量も変更できます。

2. 宝石の配置

オリジナルでは円形に置くことが推奨されています。

しかし、数種類の宝石を使う場合、さまざまな形（五紘星など）においてみたくなるものです。

そこで自由な形におけるようにネットを採用しました。

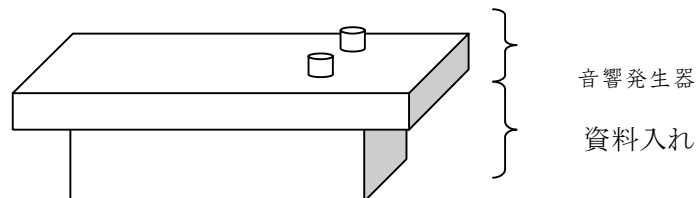
3. 光線

オリジナルは木箱にすべてを閉じ込める形となっています。

しかし、太陽光で試したり、別の光源、色をさまざまな角度からあててみる試みもやってみてほしいものだと思います。

そこで写真などを入れるところは透明なケースで作成しました。

以上より、次のような構造となっています。



音響発生器は、ネジで止められていますが、注意深くネジをはずせば簡単にあけることができます。

基本的な使い方

1. 電源に AC アダプター（9V）を接続します。
2. 透明なケースをあけ、アルミのネットの下に写真をいれます。
3. ネットをかぶせます。
4. ネット上に治療すべき光線を発する宝石をおきます。
5. スイッチをいれます。音が聞こえてくるはずですが、もうひとつのボリュームで音の高低を調節します。

本に書いてあるとおりであれば、効果は「客観的に」プリズムで確認できるはずですね。

実際に使用してみることで、本の理解が深まり、新たな発見があることを確信しております。